

相手の立場になつて考えてみよう

小三

ある日、エレベーターに乗っていた
ときのことです。車いすに乗っている
おばあちゃんが、エレベーターに乗ろ
うとしていました。

さいしよは、ぼくは、何もしないで
待っていてようと思ひました。でも、な
かなか乗れず大へんそうだったし、ド
アがしまつてしまつたら大へんだと
思つて、開くボタンをおして待つてい
ました。そうしたら、おばあちゃんが
近よつてきて、
「ありがとう。」
と言つてくれました。ぼくは、ボタン

を押して待つていただけなのに、あり
がとうと言われて、なんだか心が温か
くなりました。

家に帰つて、そのことをお母さんに
話したら、
「がんばったね。」

と言つてくれました。お母さんにほめ
てもらつて、ぼくは本当にいいことを
したんだなと思ひすることができました。
だから、体がふじゆうな人もそうでな
い人でもぼくにできることをして、助
けたいという気持ちになりました。

その日の夜、ぼくは自分が助けられ
るゆめを見ました。

ぼくが、ゆめの中で校庭で遊んでい
てひざをけがしてしまふのです。ゆめ
でもひざがいたくてしかたありません

でした。でも、みんな、知らんぷりを
して走って行ってしまいます。ぼくは、
とても悲しかったです。

そのとき、だれかがぼくのところに
走ってきてくれました。その子は、

「だいじょうぶ。」

と声をかけてくれました。その言葉を
聞いて、ぼくがほっとしたというゆめ
でした。

目がさめたとき、きのうのおばあ
ちゃんのことを真っ先に思い出しまし
た。おばあちゃんも、こまっていたの
にだれも声をかけてくれなくて悲し
かったのかな。ぼくは、そのおばあちゃ
んの立場になって考えればよかったな
と思いました。

相手の立場になって考えて行動する

ことは、とてもむずかしいことだと思
います。でも、これからはもつともつ
と進んで相手の立場になって考え、声
をかけたり、ぼくにもできる手助けを
したりしたいです。

「こまったときは、おたがいさま」
という言葉聞いたことがあります。
みんなが助け合おうという気持ちを
もっていれば、みんながえがおでいら
れると思います。そして、平和に生活
できると思います。

ぼくは、みんなのことも大切にでき
る人になりたいと思います。